

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成23年5月17日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 「スマイルトレード 10%」スマイルエンジン加速中
2. 「スマイルトレード 10%」トウキョウベース開設
3. 「スマイルトレード 10%」東北未来塾 開塾
4. 国際化学オリンピック代表選考試験に「がんばろう、東北」枠
5. 今年も『科学の花咲く』プロジェクト
6. 「科学の楽しさ」伝えるマイスターを養成します。
7. 『山形大学と交流する会』が一周年を迎えます。

お 知 ら せ

1. 『んだ!「はやぶさ」見に行がんね』プロジェクト
2. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』
3. 大学コンソーシアムやまがた『合同企業説明会』
4. 人文学部公開講座『遠い方言 近い方言』
5. テニユア・トラックプログラム シンポジウム
『社会的知性を備えた卓越した若手研究者育成』
6. 『あなたと山形大学を結ぶインフォメーション』発行

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成23年6月7日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)



平成23年5月17日

山形大学

「スマイルトレード10%」スマイルエンジン加速中

発進した「スマイルエンジン山形」スタートアップ便の報告と今後の展開をお知らせします。

○スタートアップ便の報告

5月4日5日の両日に始動した「スマイルエンジン山形」の報告を、山形大学の熊谷周三と東北芸術工科大学の鳥越渚が発表します。

○「スマイルエンジン山形」今後の運行状況

5月14日出発便は、満席の状態が発進しました。

【今後の定期便】

平成23年5月28日（土）、6月4日（土）

目標動員数：山形大学と東北芸術工科大学の学生・教職員45名、
一般45名（大型バス2台）

参加費：山形大学と東北芸術工科大学の学生・教職員＝無料
一般＝2,500円（※ボランティア保険未加入の方は、加入料
490円を事前説明会聴講時にお支払ください。）

活動場所：宮城県石巻市

スケジュール：6:00（山形発）→9:00（石巻着・活動）→19:30（山形着）
※石巻での活動は約6時間

集合場所：東北芸術工科大学正面バスロータリー（6:00発車）

山形大学小白川キャンパス正門前（6:20発車）

○「スマイルエンジン山形」チーム米沢も発進します。

平成23年5月21日（土）～7月23日まで毎週土曜日運行

目標動員数：山形大学工学部学生・教職員40名（大型バス1台）

活動場所：宮城県東松島市

スケジュール：6:00（工学部正門発）→9:00（東松島着・活動）→
15:00（作業終了・東松島発）→18:00（集合場所解散）
※東松島での活動は約6時間

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

（お問い合わせ）

エンロールメント・マネジメント部 教授 平尾 清

TEL：023-628-4866

e-mail：goodhope@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

チーム米沢

山形大学工学部

「ぜひご参加
ください！」

震災ボランティア 募集中！

**7月23日まで毎週
土曜日に継続して
実施します！**

■ **日時**：第1回 平成23年5月21日（土）
6時（出発）～18時頃（解散）

【現地での作業時間9時～15時程度】

■ **作業場所**：宮城県東松島市

■ **作業内容**：泥かき、家財出し、片付け、など
※現地に到着後、具体的な作業を設定し振り分けます。

■ **募集対象**：山形大学工学部学生・教職員 約40名

■ **応募方法**：裏面の申込み用紙に必要事項をご記入の上、
下記申込み先にてお手続きください。

※応募締切：山形大学工学部 5月18日（水）17:00

事前説明会：ボランティア活動に係る事前説明会を5月13日（金）18:00から山形大学
工学部4号館2階211教室（TV会議）で行いますので、ご参加ください。
説明会に参加出来ない方については、DVDの貸出しも行っております。

【注意事項】

- 1 悪天候や余震、強風他の自然状況により、活動を中断・中止する場合があります。
- 2 今回参加を希望される方は、事前に保護者の方へボランティアに参加することを連絡しておいてください。余震発生などの懸念事項もあります。
- 3 服装や装備が充分でない場合、バスの乗車をお断りする場合があります。

— 問合せ・申込み先 —

山形大学工学部
学務課学生支援担当（学生サポートセンター）
TEL：0238(26)3017 FAX：0238(26)3406
E-mail：kougakusei@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

詳細

移動手段： 貸切バス1台

スケジュール： 山形大学工学部正門発(6:00)→現地到着・作業開始(9:00)
→作業終了・現地出発(15:00)→集合場所にて解散(18:00頃)

服 装： ヤッケなど防水性の動きやすい服装(長袖/長ズボン)、防水ゴム手袋(厚め、長め、耐油のものがベスト)、長靴(可能であれば安全長靴(金属製の中敷き・カバーがあるもの)をお勧めします)、着替え、頭を保護する帽子など(作業ヘルメットも可)

持ち物： 食料・飲み物(現地調達不可能、腐りにくいものを準備ください)、ウェットティッシュ、汚れた作業着を入れるビニール袋(※作業後にバスのシートを汚さないようご配慮ください)、各自その他必要と思われるもの
※軍手、防塵マスク、防塵ゴーグル、スコップ、土嚢袋、手や長靴等を洗うための水は大学で用意します。
※その他、あれば持ってきて欲しい物 カッパ(上下別々のもの)

-----以下、申込み書-----

参加希望日	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/16	7/23
学科・専攻、学年	学科・専攻 年									
学生番号										
性別、生年月日	男・女	大正・昭和・平成 年 月 日								
氏名(フリガナ)	()									
住所	〒 -									
電話番号										
メールアドレス										
緊急時連絡先(自宅・実家等)										
ボランティア活動保険加入の有無 (未加入の方については、申込み先にてお手続きいただけます)	有 ・ 無									
資格・経験										

※ご提供いただいた個人情報は、今回のボランティア活動管理の範囲内に限り使用します。



平成23年5月17日

山形大学

「スマイルトレード10%」トウキョウベース開設

東京発のボランティアツアー企画開始と 復興のためのシンクタンクをスタート

東日本大震災復興支援のために、山形大学と東北芸術工科大学が始めた「スマイル・トレード10%」の活動を広げるため、トウキョウベースを開設します。トウキョウベースを起点に、東京発のプロジェクトがスタートします。

○トウキョウベース

場 所：山形大学東京サテライト内

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

キャンパス・イノベーションセンター 507号室

TEL/FAX：03-5440-9071

トウキョウベース・コーディネーター：小山龍介（プロフィール別紙参照）

○東京発のボランティアツアー企画開始

すでに山形から定期運行している日帰りボランティアバス『スマイルエンジン山形』を企画のベースとして、東京から発着するボランティアツアーの企画を開始します。またツアーでは地域経済復興のため、東北の宿泊施設を活用するプランを予定しています。

活動場所：宮城県石巻市、東松島市、多賀城市など

対 象：両大学の卒業生、社会人学生及び一般の方

○復興プラン策定プロジェクトチーム「スマイルシンクタンク（仮称）」

東京で活動する専門家や両大学の卒業生などの持つスキル、時間や人脈といったリソースの10%を活用し、継続性のある支援を行います。地域に根ざし、人々の絆を生かした復興プランを策定し、実行支援を行います。

活動内容（予定）：現地訪問、ヒアリング調査、プラン策定、実行支援

（お問い合わせ）

エンロールメント・マネジメント部 教授 平尾 清

TEL：023-628-4866

e-mail：goodhope@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



東北未来塾 特別講座「未来のリーダーシップ講座」講師
スマイルトレード10% トウキョウベース
コーディネーター

小山龍介

◇略歴

株式会社ブルームコンセプト代表取締役共同経営者
立教大学リーダーシップ研究所客員研究員
NPO 法人「場の研究所」事務局長

1975年福岡県生まれ。AB型。京都大学文学部哲学科美術史卒業。大手広告代理店勤務を経て、サンダーバード国際経営大学院でMBAを取得。卒業後は、大手企業のキャンペーンサイトを統括、2006年からは松竹株式会社新規事業プロデューサーとして歌舞伎をテーマに新規事業を立ち上げた。

2010年、午堂登紀雄と共同で株式会社ブルームコンセプトを設立し、現職。新規事業の立ち上げ、新商品開発プロジェクトに携わる。

執筆家としての顔も持ち、その代表作である『IDEA HACKS!』を始めとするハックシリーズは、多くのビジネスパーソンに支持されている。またその経験を活かし、執筆家へ可能性の扉を開く出版プロデュースを行っている。



◇動機

「復興には、長期的には新しいリーダーの育成が欠かせません。復興支援する人材を育成することで、東北の復興に寄与できたらと思っています。また、トウキョウベースのリーダーとして、スマイルトレード10%の活動を日本全国に広げていきたいと思っています。」



平成23年5月17日

山形大学

「スマイルトレード10%」東北未来塾 開塾

東日本大震災復興支援のための「知恵と思想」を学び、この東北の地から未来の日本を創り上げる東北未来塾が始まります。

【東北未来塾開塾シンポジウム】

山形大学、東北芸術工科大学の両学長などによる、開塾シンポジウムを開催します。「スマイルエンジン山形」スタートアップ便の体験や新しい東北を創出するための提案を発信します。

日時：平成23年5月21日（土）13：30～15：30

場所：東北芸術工科大学やまがた藝術学舎ホール

（元山形県知事公舎・公館）（山形市松見町17-1）

コーディネーター：(株)千歳建設取締役会長 千歳 栄氏

パネリスト：山形大学 学長 結城章夫、副学長 小山清人

東北芸術工科大学 学長 根岸吉太郎、副学長 宮島達男

司会：東北芸術工科大学美術館大学センター講師 宮本武典

【第1回講座】

復興に必要なリーダーシップを、実践と振り返りを通じて理解を深め、新しい時代のリーダーを育成する「未来のリーダーシップ講座」を開講します。

日帰りボランティアバス「スマイルエンジン山形」を経験し、その経験から学んだことをワークショップで共有することにより、リーダーに必要な生きた知恵を学びます。3回シリーズを予定。2回目以降の日程は現在調整中。

実施日：平成23年6月10日（金）18：00～21：00

場所：山形大学事務局4階 第2会議室（山形市、小白川キャンパス）

対象者：「スマイルエンジン山形」のボランティア活動を経験した山形大学、東北芸術工科大学の学生、一般の方20名程度

講師：小山龍介（東北未来塾講師・プロフィール別紙参照）

（お問い合わせ）

エンrollment・マネジメント部 教授 平尾 清

TEL：023-628-4866

e-mail：goodhope@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※本リリースは、文部科学記者会、科学記者会に配布しております

プレス発表資料



平成23年5月17日

山形大学

国際化学オリンピック代表選考試験に「がんばろう、東北」枠

東北6県の高校生に対して、国際化学オリンピック代表候補生徒選考の特別枠が設けられました。

国際化学オリンピックアメリカ大会の代表選考は、日本化学会と「夢・化学ー21」委員会が実施する「全国高校化学グランプリ」での成績優秀者20名程度と、日本化学会各支部の推薦を受けた高校生等若干名で2012年1月に実施されます。

山形大学では、東日本大震災によって東北地区の高校生たちがグランプリの参加に支障をきたしていること、原子力発電所のトラブル等により科学・技術に対する考え方に動揺が起きていることなどを憂慮し、日本化学会オリンピック小委員会に働きかけ、東北予選試験を被災した高校生等への支援策そして奨励策として、「がんばろう、東北」の気持ちを込めて実施します。

この東北特別枠は、日本化学会オリンピック小委員会と合意したものです。

☆東北予選試験

日時：平成23年8月21日（日）

場所：山形大学理学部（山形市、小白川キャンパス）

対象：東北6県の高等学校および工業高等専門学校の1・2年生

推薦枠：各県5名、最大で30名となります。

8月21日の試験の結果、上位5名程度が代表候補生徒として推薦され、2012年1月の代表選考1次試験に臨みます。

※国際化学オリンピック：

1968年に東欧3カ国（ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド）が始めた高校生の化学の学力試験から発展した国際大会。近年では約70の国と地域が参加する一大国際大会となっています。日本は2003年のアテネ大会より参加し、2010年には日本大会を開催しました。

（お問い合わせ）

山形大学SCITAセンター

TEL：023-628-4506

☆がんばろう、東北☆「2012 年度国際化学オリンピック 代表候補生徒東北枠選考試験」

「2012 年度 国際化学オリンピック 代表候補生徒東北枠選考試験」(以降、東北枠)は、2012 年 7 月開催の化学オリンピックアメリカ大会の代表選考に関し、日本化学会東北支部の代表候補生徒推薦枠を弾力的に運用して実現することで、山形大学、日本化学会東北支部、および日本化学会オリンピック小委員会が合意したものです。

東北枠の実施にあたり、日本化学会会長 岩澤康裕 電気通信大学教授は、「日本近代史上未曾有の東日本大震災とそれに続いた福島第一原子力発電所の放射能漏出事故により、今日の科学・技術の限界を痛感すると同時に、復興・新生のためには科学・技術による多角的な貢献が欠かせないと考えます。大きな困難を克服し、文化的で豊かな社会の創造のために科学の前進は不可欠です。代表候補生徒東北枠選考試験は、国際化学オリンピックに参加するような若い世代の成長を応援する我々の意思の象徴です。日本化学会は、彼らが未来への希望を持ち活躍してくれるように、支援を行って行きます。この度の企画を主導して頂く山形大学に心より敬意を表し、オリンピック小委員会や関連諸団体にはできるだけの協力をして頂くようお願い致します」と語りました。

東北枠を計画した山形大学は、全国高校化学グランプリ*開始以降 1 次試験の会場を提供し、グランプリの発展に関わってきました。2010 年の国際化学オリンピック日本大会開催にも山形大学の教員が実行委員となって深く関与するなど、中等教育への関心は深く、継続的に貢献しています。この度の震災の影響で東北地区の一部高校生等はグランプリへの参加に支障をきたしていること、原子力発電所のトラブル等により科学・技術に対する考え方に動揺が起きていることなどを憂慮し、化学オリンピック支援経験者と協議し、「日本の化学の未来を考える会」**のメンバーの実働協力の基、国際化学オリンピックへの第一歩となる東北枠の実施を決定に至りました。

☆*全国高校化学グランプリについて：

国際的にも通用する若い化学者を育てることを目的として、「夢・化学-21」委員会と日本化学会が 1998 年、東京と仙台の 2 カ所で試験的に実施した「高校化学グランプリ」が始まりです。1999 年から、「全国高校化学グランプリ」として全国規模で開催されるようになり、今では参加者が 3,000 人を超す大会に発展しています。

国際化学オリンピックに派遣される代表生徒の選考と強化訓練は日本化学会オリンピック小委員会が担当しています。今年は震災等の影響で、国際化学オリンピック代表生徒の決定は通常より約1ヶ月遅い5月9日となりました。

☆**日本の化学の未来を考える会について：

国際化学オリンピックを通して得た視野や知見を基に、次世代育成を見据えた主に中等教育課程の化学教育に関する啓発活動・提言を行う組織委員会です。委員長は野依良治理化学研究所理事長。国際化学オリンピックの運営や代表生徒指導等を担当した大学教授を中心メンバーとして2011年3月に発足しました。

HP：<http://www.tuat.ac.jp/~yonezawa/nihonmirai.html>

お問合せ先：

日本化学会 化学グランプリ・オリンピック委員会 オリンピック小委員会

042-388-7053 (東京農工大学 米澤研究室)

日本化学会 化学グランプリ・オリンピック委員会 広報小委員会

080-1145-4550 (ラオちぐさ)

化学オリンピック代表候補生徒選考 東北予選

山形大学

2011年5月17日

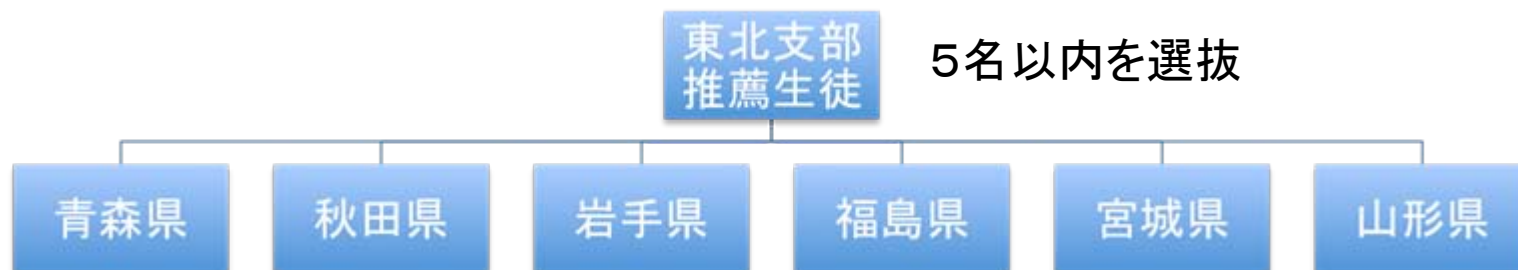
化学オリンピック代表候補生徒選考 東北予選

2010世界化学年協賛事業

主催：山形大学

共催：日本化学会(東北支部，化学オリンピック小委員会)

協力：日本の化学の未来を考える会



各県の候補生徒数：

高校2年生(相当)以下 5名以内

1名以上の高等専門学校生徒を含むこと

2011年8月21日

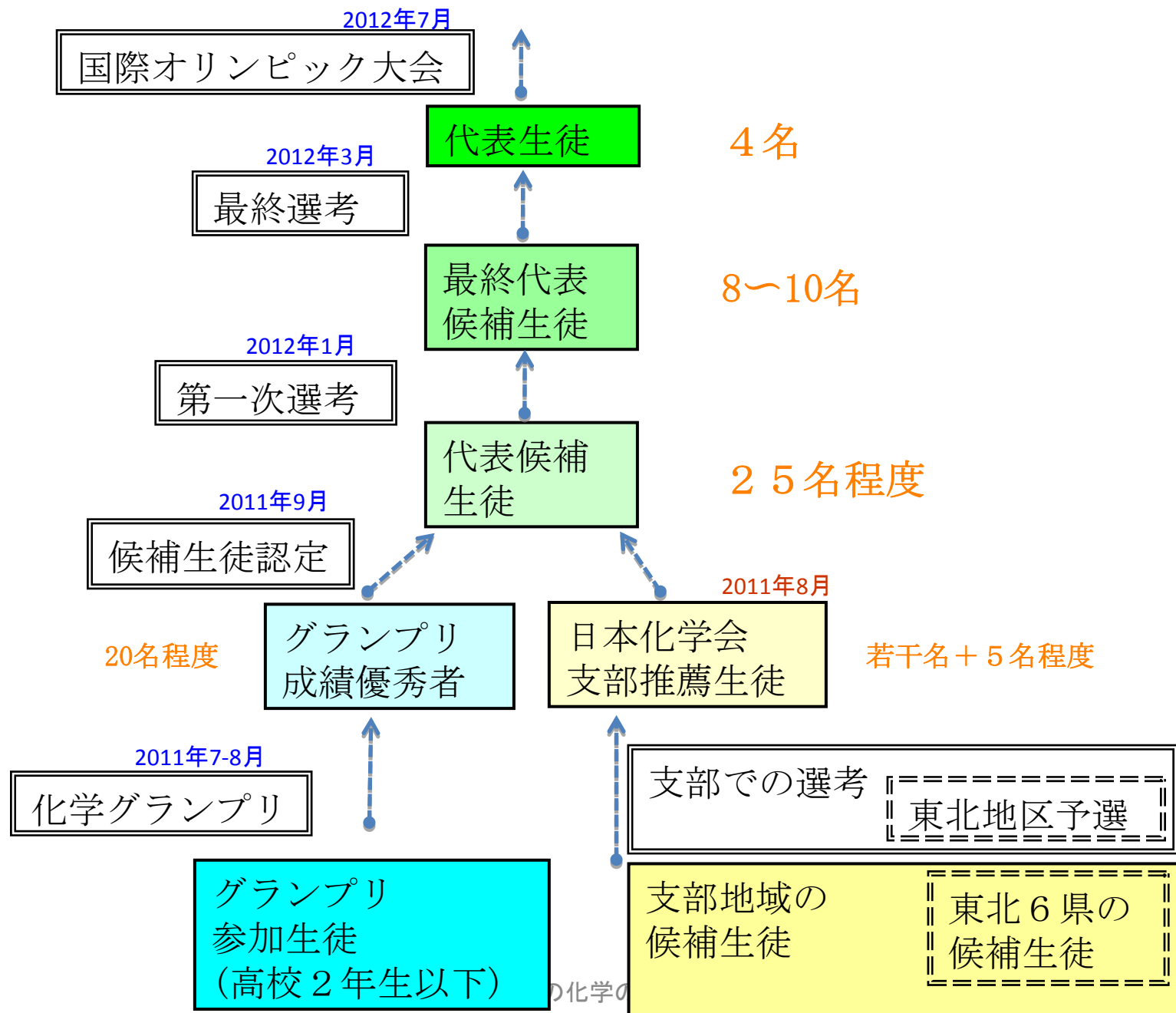
山形大学(山形市)

生徒の交通費・保険料は大会が負担

候補生徒の選抜：

各県の高等学校理科(化学系)教諭へ日本化学会支部会員の協力で選考

第44回国際化学オリンピックアメリカ大会への道程



試験内容(暫定)およびレベル

東北地区予選

筆記試験および実験試験

筆記：高等学校で1年半程度化学を学習した生徒を想定した基礎的な問題と応用力を問う問題

実験：高等学校の教科書や副読本図録の掲載されているレベルの基本操作の実行力を調べる課題

第一次選抜

筆記試験

北米の高校AP (Advanced Placement) コース相当

代表候補生徒に日本語翻訳教科書を配布予定

最終選考

筆記試験および実験試験

国際大会委員会発表の準備問題に準拠した問題

北米の高校APコース相当の項目(シラバス)に関する高度な設問

最終代表候補に大学学部用教科書を配布予定

※本リリースは、文部科学記者会、科学記者会に配布しております。

「日本の化学の未来を考える会」組織委員会プレスリリース

平成 23 年 4 月 19 日

世界水準の化学教育をめざす「日本の化学の未来を考える会」が発足 ～ 化学教育の発展的な進化に向けて全国的な教育支援活動を展開 ～

「日本の化学の未来を考える会」組織委員会(委員長:野依良治、理化学研究所理事長)は、日本の化学教育を、世界水準を見据えた化学教育へと進化させることをめざし、全国的な教育支援・啓発活動を展開する「日本の化学の未来を考える会」を発足させました。

当会は、高校生が化学知識・実験技能・応用力等を競う国際化学オリンピックの運営や代表生徒の派遣に協力した経験をもつ大学教育関係者を主体に構成されています。平成 22 年に日本で初開催された国際化学オリンピックでは日本代表生徒が金メダル 2 個、銀メダル 2 個を獲得しました。一方、これまで同事業に関わった教育関係者の多くが、諸外国の中等理数科教育の学習の質・量・重点分野等の変遷を改めて知ることとなり、化学教育における、「日本と世界との差」を認識しました。これにより、世界水準の化学教育を見据え、日本にとって必要かつ十分な化学教育を考え直すことをスローガンに掲げ、世界に対して今一度切望され、より文明の流れを主導し得る化学教育の実現をめざそうという志の下、世界化学年を迎えた今年、当会は結成されました。

日本の化学教育は、100 年以上前に驚異的な速さで西欧型の体系化を成し遂げ、その内容と手法は多くの国の手本となってきた誇るべき輝かしい歴史をもちます。しかし、その後これまで比較的長い間、国内にのみ目を向けてきた教育改革等の結果、キャッチアップする国々の視点からは魅力が薄れ、むしろ、諸外国がそれを凌駕するような改革を進めるようになってきました。また、私たちの生活環境そのものもこの 1 世紀強の間に極めて大きな変貌をとげ、化学や理科で扱うべき対象も生命科学や人工物質科学など、学問領域としてもパラダイムが大きく変化する歴史の奔流の中にいます。

当会は国際化学オリンピックにおける日本代表生徒等への教育指導、および教育者への支援活動、特に代表生徒等への実験指導を通して彼らの包括的な理解力や応用力を育成する際に得られた知見・経験を、全国の中等教育の理科教員が共有できるような工夫を組み入れた教育支援活動を継続的に実施する予定です。将来的には、世界水準の化学知識・技能を習得し、国内外で活躍できる化学者や柔軟な化学的思考力を駆使できる社会人・生活者を育成する新しい枠組み作りに向けた提言を行っていく予定です。

● 「日本の化学の未来を考える会」活動計画

(1) 才能育成活動

- ・ 国際化学オリンピック生徒派遣支援としての教育指導
 - 国際化学オリンピック日本代表生徒の強化合宿を支援し、実践的な化学知識および実験力を高めるための教育指導を実施
- ・ 高校理科教員向け教育指導
 - 高校の理科教員を対象に国際化学オリンピックでの経験・知見を基にした化学実験指導について提言・技術指導を実施

- 世界水準の人材育成をめざす理科教育の試みへの参画・協同
(大阪府指定のグローバルリーダーズハイスクール、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)等を対象に教員向けの理科・化学教育研修を提供)

(2)啓発活動

- ・ 国際化学オリンピックの広報
 - 化学分野の才能育成の受け皿として、国際化学オリンピックの存在や参加意義について広報活動を実施
- ・ 未来の化学者を発掘するための広報
 - 生活に密着した化学の重要性や魅力を紹介する講演会や化学実験教室等を通じて、未来の化学者を発掘する広報活動を実施

(3)世界水準を見据えた化学教育に向けた新しい枠組みの提言

- ・ 日本と世界の教育カリキュラムの違いに関する情報発信
- ・ 日本と世界の才能育成の方法について調査、比較検討、議論を重ねることで、世界水準の化学教育に向けた新しい枠組みを提言

(4)その他活動

- ・ 企業、学会等との協同的連携
 - 企業、学会に積極的な働きかけを行い、広報機会等の連携を模索

● 「日本の化学の未来を考える会」発足にあたってのコメント

野依 良治 理化学研究所理事長 (2001年ノーベル化学賞受賞)

「日本は限りある地球の枠組みの中で、豊かな人類社会の存続に向けて貢献する国でなければなりません。優れた科学技術こそが我が国にとって国際競争力の源泉であり、国際協調の柱です。国の存立のために不可欠の資源に他なりません。昨年発表されたPISA(OECD生徒の学習到達度調査)の調査結果では、日本は回復基調にあるとの主張もありましたが、上位国との差は依然として大きいです。将来を担うのは前途ある若者たちです。『日本の化学の未来を考える会』の活動を通じて、才能ある後進を正しく導き、科学の素晴らしさと技術の重要性について理解を深める機会につなげていきます」

桜井 正光 経済同友会代表幹事

「グローバル化が加速するなかで、我々は、地球温暖化、エネルギーや食料の需給逼迫などの世界規模の課題に直面しています。さらに、わが国は少子高齢化や財政再建などの難題を克服していかなければなりません。こうした時にこそ、私は目指すべき国のかたち・ビジョンを示し、若者がやる気と希望の持てる社会を創らなければならないと考えています。特に、資源小国であるわが国が持続的経済成長を遂げるには、人材の育成と科学技術立国の実現が必須であることを改めて認識する必要があります。世界水準の中等化学教育の実現を目指して発足する『日本の化学の未来を考える会』が大きな役割を担うものと期待するとともに、国際化学オリンピック等の活動を通して成長する若者がわが国の未来を切り開いていくことを願っています」

本件に関するお問合せ先

「日本の化学の未来を考える会」広報事務局

(広報代理店: ウェーバー・シャンドウィック内)

担当: 大崎、鈴木 TEL: 03-5427-7396/7411

E-mail: tosaki@webershandwick.com / dsuzuki@webershandwick.com

平成23年4月19日現在

「日本の化学の未来を考える会」組織委員会

役職	氏名	所属等
委員長	野依 良治	理化学研究所 理事長 / 名古屋大学 特別教授
		化学オリンピック日本委員会 委員長
委員長代理	大鷲幸一郎	京都大学副理事・環境安全保健機構長
副委員長	渡辺 正	東京大学 生産技術研究所 教授
		化学オリンピック日本委員会 実行委員長
事務局長	米澤 宣行	東京農工大学 工学部 有機材料化学科/大学院工学系応用化学専攻 教授
		2007年国際化学オリンピックロシア大会 / メンター
		2007～2010年日本化学会 化学オリンピックWG 主査
		2009年国際化学オリンピックイギリス大会 / ヘッドメンター
		2011年日本化学会 化学オリンピック小委員会委員長
委員	伊藤 敏幸	鳥取大学大学院 工学研究科 化学・生物応用工学専攻教授
委員	伊藤 真人	創価大学工学部 / 大学院工学研究科 教授
		2010年国際化学オリンピック日本大会 / 総務委員長
		2003年国際化学オリンピックギリシャ大会 / メンター
委員	木原 伸浩	神奈川大学 理学部 化学科 教授
		2010年国際化学オリンピック日本大会 / ヘッドメンター
		2008年国際化学オリンピックハンガリー大会 / ヘッドメンター
委員	栗山 恭直	山形大学 理学部 物質生命化学科 教授
		2010年国際化学オリンピック日本大会 / 広報委員
委員	小森 栄治	日本理科教育支援センター代表
委員	多賀圭次郎	名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授
		2007年国際化学オリンピックロシア大会 / サイエنتィフィック・オブザーバー
委員	友岡 克彦	九州大学 先端物質化学研究所 教授
委員	永澤 明	埼玉大学大学院理工学研究科物質科学部門 教授
委員	中村 朝夫	芝浦工業大学 工学部 共通学群 化学 教授
		2010年国際化学オリンピック日本大会 / メンター
委員	西村 淳	群馬大学 名誉教授・金沢工業大学 客員教授
		2009年国際化学オリンピックイギリス大会 / 統括チューター
委員	橋本 正人	和歌山大学 システム工学部 精密物質学科 教授
		2009年国際化学オリンピックイギリス大会 / サイエントフィック・オブザーバー
委員	樋口 弘行	富山大学 大学院理工学研究部 教授
		2010年国際化学オリンピック日本大会 / 日本代表候補チューター
委員	三好 徳和	徳島大学 総合科学部 総合理学数学科 教授
		2010年国際化学オリンピック日本大会 / 代表合宿訓練担当

※委員の並びは五十音順となっています。

※「日本の化学の未来を考える会」組織委員会事務局は東京農工大学内に設置しています。

以上

平成23年5月17日
山形大学

今年も『科学の花咲く』プロジェクト

山形県の科学とこれまでに誕生した科学コミュニケーターが、もっと身近な存在になるようにシンポジウムを開催します。

今年が3年目の活動となる「やまがた『科学の花咲く』プロジェクト」が、これまでの活動を紹介し、今後さらなる発展のためのシンポジウムを開催します。

科学コミュニケーションを行っている方、理科が好きという方、子供たちに科学を楽しく教えてみたい方など、どなたでも気軽にご参加ください。

～科学コミュニケーター養成について～

日時：平成23年6月4日（土）13:00～16:30

場所：遊学館 ホール（山形市緑町1-2-36）

プログラム：〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

- ・やまがた『科学の花咲く』プロジェクト3年目の取り組みについて
コーディネーター 菅原 晃（山形大学産学連携教授）
- ・「モバイルキッズケミラボ10周年」について
尾形 健明（山形大学大学院理工学研究科 教授）
- ・マイスター活動のサポートについて
山形県産業科学館、鶴岡市立加茂水族館、山形県立博物館、
最上広域市町村圏事務組合教育研究センター

※2階ギャラリーにおいて、星空案内人、スライム・クラゲ・蔵王マイスターについての展示も行います。

（お問い合わせ）

山形大学SCITAセンター

TEL：023-628-4517

やまがた「科学の花咲く」プロジェクトシンポジウム ～科学コミュニケーター養成について～



日時：平成23年6月4日（土）13:00～16:30

場所：遊学館 ホール（山形市緑町一丁目2-36）

（車でお越しの際は県営駐車場をご利用ください）

司会 栗山 恭直（山形大学理学部教授）

プログラム



13:00～13:10 あいさつ

小山 清人（山形大学理事）

13:10～13:30 やまがた「科学の花咲く」プロジェクト
3年目の取り組みについて

コーディネーター 菅原 晃（山形大学産学連携教授）

13:30～14:00 講演

「モバイルキッズケミラボ10周年」について

尾形 健明 氏（山形大学大学院理工学研究科教授）

14:00～14:10 休憩

14:10～15:10 マイスター活動のサポートについて（講演 各15分）

・山形県産業科学館として

山形県産業科学館・館長 室岡 和夫 氏

・鶴岡市立加茂水族館として

鶴岡市立加茂水族館・副館長 奥泉 和也 氏

・山形県立博物館として

山形県立博物館・副館長 寒河江 茂 氏

・最上広域市町村圏事務組合教育研究センターとして

最上広域市町村圏事務組合教育研究センター・研究主幹 高橋 敏彦 氏

15:10～16:30 情報・意見交換会

（2階ギャラリーにて、星空案内人・スライム・クラゲ・蔵王マイスターについての展示）

16:30 閉会



※スライムマイスター・クラゲマイスター・蔵王マイスターは
やまがた「科学の花咲く」プロジェクトで養成した科学コミュニケーターです

〇●〇 お問い合わせ 〇●〇

やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局（提案：山形県 運営：山形大学）

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

電話・FAX 023-628-4517 E-mail kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

http://www.kagaku-scita.jp/



参加申込書

このたび、やまがた『科学の花咲く』プロジェクトシンポジウム～科学コミュニケーション養成について～を開催いたします。科学コミュニケーションを行っている方、理科が好きという方、子供たちに科学を楽しく教えてみたい方など、どなたでも気軽にご参加ください。

入場料・参加費は無料です。

申込み方法:FAX、メール、電話、郵送

氏名	所属機関	職名	住所・連絡先
			TEL FAX E-mail
			TEL FAX E-mail
			TEL FAX E-mail

一般の方は、氏名・住所・連絡先をご記入ください。

※個人情報ハシンポジウムの運営に関すること以外に使用いたしません。

申込先

やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局 (提案:山形県 運営:山形大学)
〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター
電話・FAX 023-628-4517 E-mail kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp
<http://www.kagaku-scita.jp/>



平成23年5月17日
山形大学

「科学の楽しさ」伝えるマイスターを養成します。

「スライム」「クラゲ」「蔵王」「月山」をとおして、科学を一般の皆さまに広める指導者を育成するマイスター養成講座を開講します。

山形大学では、マイスター養成講座として、2009年度からスライムマイスター養成講座を、昨年度からはクラゲ・蔵王の各マイスター養成講座を開催しています。

今年度は、村山地区でのスライムマイスター講座(定員20名)

加茂水族館との協力でクラゲマイスター養成講座(定員20名)

蔵王温泉協会との協力で蔵王マイスター養成講座(定員20名)

新たに、今年度より始まる月山マイスター養成講座(定員20名)

を開催いたします。

日程等詳細は、別紙を参照ください。

参加料は、無料。

募集締め切りは、6月10日(金)までとなります。

(お問い合わせ)

やまがた『科学の花咲く』プロジェクト
事務局(山形大学SCITAセンター内)

(TEL) 023-628-4517

別紙

スライム マイスター	7/23(土) 13:00～16:00	スライムに関する基礎講座 子供たちへの指導方法 スライム実験講座 など	山形大学 SCITA センター
	7/24(日) 13:00～16:00		
定員 20 名	実験指導実施講座		産業科学館 イオン山形南ショッピングセンター
クラゲマ イスター	7/2(土) 10:00～16:00	クラゲに関する基礎講座 クラゲの刺傷被害の症例 クラゲの展示方法 など	加茂水族館
	7/3(日) 10:00～16:00		
定員 20 名	7/16(土) 7/18(月) 9:00～16:00 など	実験指導実施講座	産業科学館 イオン三川ショッピングセンター
蔵王マイ スター	6/25(土) 13:00～16:00	植物学	山形大学 SCITA センター
	7/9(土) 10:00～17:30	エコツアーリズムと指導者養成 など	山形大学 SCITA センター
	7/10(土) 13:00～16:00	自然環境実習	月山
	7月下旬以降	温泉、地質、防災、植生、動物、 山の注意点、蔵王温泉の歴史、 樹氷など	蔵王 山形大学 SCITA センター
月山マイ スター	6/25(土) 13:00～16:00	植物学	山形大学 SCITA センター
	7/9(土) 10:00～17:30	エコツアーリズムと指導者養成 など	山形大学 SCITA センター
	7/10(土) 13:00～16:00	自然環境実習	月山
	9/26(月) 8:30～17:00	地すべり災害講義・実習	
	7月下旬以降	出羽三山の歴史、山岳巡礼・ 山岳信仰、伝統建築、天然林 資源利用伝統文化とジェンダ ーなど	蔵王 山形大学 SCITA センター
定員 20 名			

第4期

スライムマイスター 養成講座(初級)のご案内

花咲かせ隊養成講座スライムマイスター養成講座(初級)とは?

スライムに関する化学の知識と小さな子供たちへの指導方法を学び、スライムの楽しみ方をみんなに教えてくれるのがスライムマイスター(初級)です。幼稚園や小・中学校、ショッピングモールで指導したり、一緒に遊んだり、地域のボランティアとして活動してみませんか?

地域や家庭でスライムの不思議、おもしろさ、作成技術を伝える講師や補助者になっていただくためのスライムマイスター養成講座を下記の通り実施します。

講座名	講座内容
化学実験安全講座	一般的に使用している危険物および実験で使用する物質の性質、安全な取扱い等
実験指導講座	子供の発達に合わせた指導法の在り方、注意点
基礎講座	高分子化学の基礎、スライムとは? スライムの作成実験
実験講座	スライム時計、スライム電池、スライム風船、スライムボール、伸びるスライムの作成実験
実験指導実施講座	準備および実施指導、学校やショッピングモールで指導者・補助者として実施

月日	講座名
平成23年 7月23日(土) 13:00~16:00	やまがた『科学の花咲く』プロジェクトについて
	化学実験安全講座
	実験指導講座
	基礎講座
7月24日(日) 13:00~16:00	実験講座
	実験指導実施講座
8月20日(日) など	実験指導実施講座

スライムって何だろう?
ちよつと勉強してみたい!
ほほかの子どもにも教えてみたい
という方も大歓迎です!

受講無料
定員20名

すべての講座を受講した方は「スライムマイスター(初級)」に認定され、
『科学の花咲かせ隊』隊員として活動できます。



**受講
場所**

山形大学
SCITAセンター (山形市小白川町一丁目4-1-2)
および **霞城セントラル**
イオン山形南ショッピングセンターなど

- 受講料 / **無料**
- 申込方法 / 裏面受講申込書により申し込んでください。
- 締切 / 平成23年6月10日(金)
- 定員 / **20名** (応募者多数の場合には抽選となります)



お問い合わせ先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局
〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター
TEL・FAX(023)628-4517
E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp
HP : <http://www.kagaku-scita.jp/> 担当 : 今野・渡辺

第4期 スライムマイスター 養成講座(初級)

受講申込書

氏名	(所属機関)	(職名)	住所・連絡先
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
応募動機に関して			

※ 傷害保険（プロジェクト事務局負担）に加入しますので、所属機関・職名がない方でも住所・連絡先は必ずお書きください。



申込締切

平成23年 6月10日(金)

お申し込み先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター
TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.kagaku-scita.jp/> 担当：今野・渡辺

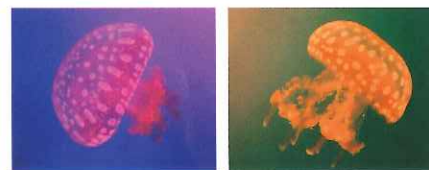
第2期

クラゲマイスター 養成講座(初級)のご案内

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、科学が文化として地域社会に根付くよう県内各地域、各分野の大学、科学館、研究機関、教育関係者などの連携による科学技術理解の活動充実や活発化、サイエンス・コミュニケーター養成をすすめています。地域や家族での「科学遊び」など、身近な科学コミュニケーションの活発化をすすめ、科学への関心が低い人も興味を持ち、地域全体で、誰もが科学に触れて楽しめる環境づくりをすすめています。

地域や家庭でクラゲの不思議、おもしろさ、危険性を伝える講師や補助者になっていただくためのクラゲマイスター養成講座を下記の通り実施します。

日時・場所	講座名	講座内容
平成23年 7月2日(土) 10:00~16:00 7月3日(日) 10:00~16:00 鶴岡市立加茂水族館 (鶴岡市今泉字大久保656)	プロジェクトについて	プロジェクト説明
	クラゲ展示見学	展示の様子などを見学
	クラゲの展示について	加茂水族館のクラゲ展示の取り組みについて
	クラゲ学習会	クラゲに関する基礎講座
	クラゲに対する安全講座	カギノテクラゲの刺傷被害の症例
	安全講座	海での安全な採取方法について
	クラゲ採集	カギノテクラゲの採集(実際に海に行きクラゲを採取)
	クラゲ輸送法	ほかの場所で飼育や展示をするための輸送法
	クラゲの展示法	クラゲの展示方法、水槽の組み立てなど
	実験指導講座	子供の発達に合わせた指導法及び注意点
7月18日(月)(祝日海の日) 9:00~16:00 イオン三川ショッピングセンター (山形県東田川郡三川大字 猪子字和田庫128-1) 他 霞城セントラル等の施設にて	実験指導実施講座	準備および実施指導、 学校やショッピングセンターで 指導者として実施



- 受講料 / **無料**
- 申込方法 / 裏面受講申込書により申し込んでください。
- 締切 / 平成23年6月10日(金)
- 定員 / **20名** (応募者多数の場合には抽選となります)

**受講無料
定員20名**

お問い合わせ先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター
TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.kagaku-scita.jp/> 担当：今野・渡辺

第2期

クラゲマイスター 養成講座(初級)

受講申込書

氏名	(所属機関)	(職名)	住所・連絡先
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
応募動機に関して			

※ 傷害保険（プロジェクト事務局負担）に加入しますので、所属機関・職名がない方でも住所・連絡先は必ずお書きください。



申込
締切

平成23年 6月10日(金)

お申し込み先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.kagaku-scita.jp/> 担当：今野・渡辺

第2期

蔵王マイスター 養成講座のご案内



蔵王樹氷



蔵王お釜



蔵王ドック沼

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、科学が文化として地域社会に根付くよう県内各地域、各分野の大学、科学館、研究機関、教育関係者などの連携による科学技術理解の活動充実や活発化、サイエンス・コミュニケーター養成をすすめています。地域や家族での「科学遊び」など、身近な科学コミュニケーションの活発化をすすめ、科学への関心が低い人も興味を持ち、地域全体で、誰もが科学に触れて楽しめる環境づくりをすすめています。

地域や家庭で蔵王(月山)の自然や環境について科学的な視点から伝える講師や補助者になっていただくための蔵王(月山)マイスター養成講座を下記の通り実施します。

日時	場所	講座内容
平成23年6月25日(土) 13:00~15:30	山形大学	プロジェクトについて 植物学
7月9日(土) 10:00~17:10	山形大学	山形の自然景観 エコツーリズムと指導者養成 地形生態学
7月10日(日) 13:00~15:30	月山山地内	自然環境実習
7月下旬以降	山形大学	火山学、樹氷、温泉と鉱物資源、防災、温泉療法、動物学、温泉地の歴史と観光 など

全20講座



蔵王温泉大露天風呂

- 受講料 / **無料**
- 申込方法 / 裏面受講申込書により申し込んでください。
- 締切 / 平成23年6月10日(金)
- 定員 / **20名**(応募者多数の場合には抽選となります)

**受講無料
定員20名**

お問い合わせ先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター
TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.kagaku-scita.jp/> 担当：今野・渡辺

第2期

蔵王マイスター 養成講座

受講申込書

氏名	(所属機関)	(職名)	住所・連絡先
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
応募動機に関して			

蔵王火山について、先生に聞いてみたい事			

樹氷について、先生に聞いてみたい事			

※ 傷害保険（プロジェクト事務局負担）に加入しますので、所属機関・職名がない方でも住所・連絡先は必ずお書きください。



申込
締切

平成23年 6月10日(金)

お
申
し
込
み
先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.kagaku-scita.jp/> 担当：今野・渡辺

月山マイスター 養成講座のご案内



月山と菜の花



月山・湯殿山と田麦畑



月山志津五色沼

やまがた『科学の花咲く』プロジェクトでは、科学が文化として地域社会に根付くよう県内各地域、各分野の大学、科学館、研究機関、教育関係者などの連携による科学技術理解の活動充実や活発化、サイエンス・コミュニケーター養成をすすめています。地域や家族での「科学遊び」など、身近な科学コミュニケーションの活発化をすすめ、科学への関心が低い人も興味を持ち、地域全体で、誰もが科学に触れて楽しめる環境づくりをすすめています。

地域や家庭で月山の自然や環境について科学的な視点から伝える講師や補助者になっていただくための月山マイスター養成講座を下記の通り実施します。

日時	場所	講座内容
平成23年6月25日(土) 13:00~15:30	山形大学	プロジェクトについて 植物学
7月9日(土) 10:00~17:10	山形大学	山形の自然景観 エコツーリズムと指導者養成 地形生態学
7月10日(日) 10:00~15:00	月山山地内	自然環境実習
7月下旬以降	山形大学	火山学、出羽三山の歴史、山岳巡礼・山岳信仰、伝統建築、天然林資源利用伝統文化とジェンダー など
9月26日(日) 1日(4コマ分)	志津地区	地すべり災害講義・実習

全20講座



月山のブナ林

- 受講料 / **無料**
- 申込方法 / 裏面受講申込書により申し込んでください。
- 締切 / 平成23年6月10日(金)
- 定員 / **20名**(応募者多数の場合には抽選となります)

**受講無料
定員20名**

お問い合わせ先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.kagaku-scita.jp/> 担当 : 今野・渡辺

月山マイスター 養成講座

受講申込書

氏名	(所属機関)	(職名)	住所・連絡先
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
			〒 TEL () - FAX () - E-mail
応募動機に関して			

※ 傷害保険（プロジェクト事務局負担）に加入しますので、
所属機関・職名がない方でも住所・連絡先は必ずお書きください。



申込
締切

平成23年 6月10日(金)

お申
し込
み先



やまがた『科学の花咲く』プロジェクト事務局

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 山形大学SCITAセンター

TEL・FAX(023)628-4517

E-mail : kagaku-scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

HP : <http://www.kagaku-scita.jp/> 担当：今野・渡辺

平成23年5月17日
山形大学

『山形大学と交流する会』が一周年を迎えます。

「山形大学と交流する会」一周年に際し、学生コーディネータが活動を報告します。

「山形大学交流する会」は、本学の研究の進展、人材育成の向上及び地域に有為な人材輩出の支援、また、本学から地域企業に対し学術面からの支援を推進、地域企業と教職員及び学生との交流の充実、地域の活性化並びに会員企業と山形大学の発展に寄与することを目的として、平成22年7月6日に発会しました。その一周年に際し、下記のとおり総会と特別講演会を開催します。

「山形大学交流する会」では、地域企業と山形大学との交流を促進して、地域の山形大学に対するニーズを調査して具体化するために、学生コーディネータを配置しています。その学生たちが、1年間の活動を報告します。

特別講演会：「有機ELとは？そして、そのテレビへの応用は？」

山形県で有機ELと言えはたくさんの方が知っている言葉ですが、その実際をわかりやすく解説します。そして、テレビへの応用について、スマートフォンから家庭用テレビ、さらにはフレキシブルテレビへの展開の可能性を紹介します。

日 時：平成23年5月24日（火）16：30～17：30

（総会・懇談会は、15：30～16：15）

場 所：山形大学基盤教育2号館講義室（山形市、小白川キャンパス）

（総会・懇談会は、山形大学事務局第1会議室）

講 師：山形大学大学院理工学研究科 ときとうしずお 時任静士 教授

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

（お問い合わせ）

山形大学と交流する会事務局

TEL：023-628-4841

平成23年度山形大学と交流する会

特別講演会

演題

「有機ELとは？ そして、そのテレビへの応用は？」

山形県で有機ELと言えば沢山の方が知っている言葉ですが、では実際はどんなものなのか分かり易く解説します。そして、その応用として照明とテレビが期待されていますが、ここではテレビへの応用について、スマートフォンから家庭用テレビ、さらにはシート型のフレキシブルテレビへの展開の可能性を紹介します。

講師 山形大学大学院理工学研究科 教授 ^{ときとう} 時任 ^{しずお} 静士 氏

<講師略歴>

1987年九州大学大学院総合理工学研究科博士課程修了、工学博士。

同年同大学院助手。

1988年カリフォルニア大学サンタバーバラ校博士研究員。

1990年豊田中央研究所主任研究員。

2001年NHK放送技術研究所主任研究員。

2006年同所研究グループリーダー。

2009年同研究所部長。

2010年から山形大学大学院理工学研究科教授、現在に至る。

<主な研究分野>

導電性高分子、有機EL、有機トランジスタ、フレキシブルディスプレイ



フレキシブル有機ELディスプレイの世界

日時 平成23年5月24日（火）16:30-17:30

対象 山形大学と交流する会 会員企業の皆様、山形大学学生、教職員

会場 山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館講義室

講演会終了後、引き続き交流会を開催いたしますので、併せてご参加願います。

時間 17:45-19:00

会場 山形大学厚生会館学生食堂

会費 1,000円

主催 山形大学と交流する会

お申込 下記の電話番号、FAX、またはE-mail アドレスにご連絡ください。（5月13日締切）

山形大学と交流する会事務局

T E L : 023-628-4841 FAX : 023-628-4849 E-mail : yamadaikouryu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成23年度山形大学と交流する会 特別講演会 参加申込書

企業名			TEL	
住所			FAX	
	氏名	役職	交流会への参加 (いずれかに○をお付けください)	
1			参加・不参加	
2			参加・不参加	
3			参加・不参加	
4			参加・不参加	
5			参加・不参加	
6			参加・不参加	
7			参加・不参加	
8			参加・不参加	
9			参加・不参加	
10			参加・不参加	

※ご記入いただいた個人情報等は、本事業以外の目的には使用しません。

下記の宛先に FAX、E-mail 又は郵便でこのままお送りください。

申込締切／平成23年5月13日(金)

お申込み・お問い合わせ先

山形大学と交流する会事務局

担 当：田林 美幸、鶴見 明子、佐藤 志保、樋渡 翔、佐藤 晴香

住 所：〒999-8560 山形市小白川1-4-12

T E L：023-628-4841 FAX：023-628-4849

E-mail：yamadaikouryu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

プレス通知資料（概要）

平成23年5月17日
山形大学

1. 『んだ！「はやぶさ」見に行がんなね』プロジェクト

（概要）震災後、閉鎖していた「やまがた天文台」を再開しました。5月14日から毎週土曜日にオープンします。単なる再スタートではなく、よりたくさんの方の市民のみなさんに楽しんで頂けるよう、小惑星探査機「はやぶさ」に因んで小惑星特別展示を開催します。

☆春の星空案内

星のソムリエによる春の星座案内、望遠鏡による惑星観察を行います。

星空ガイドツアーの出発時間は、毎週土曜日

1回目 19:15～、2回目 19:45～、3回目 20:15～

参加料:小学生以上 200円

☆小惑星特別展示

日時:平成23年5月17日(火)～平成23年6月10日(金)

月曜から金曜日 10:30～16:00

土曜日 19:00～天文台終了まで

場所:山形大学インフォメーションセンター(山形市、小白川キャンパス)

特別展示内容:

①山形に因んだ天体大集合

小惑星の中には「最上川」「土門拳」「直江兼続」、など山形に因んで命名されたものがたくさんあります。そのほか、いろいろな山形に関係した天体を収集した珍しいリストを公開します。(南陽天文愛好会の協力でデータの作成をしました。)

②惑星や小惑星はどのようにしてできたか。

わたしたち人類を育んだ地球をはじめとする惑星たちは宇宙の塵の中から作られました。その仕組みを易しく解説します。

③日本の宇宙船やロケットの歴史を振り返るペーパークラフト展

ペーパークラフトで日本のペンシルロケットから現在のロケットまでの歴史をたどります。国際宇宙ステーションのペーパークラフトもあります。

④小惑星探査機「はやぶさ」で使われたターゲットマーカの反射材の展示

「はやぶさ」が小惑星着陸の際の目印に貼られた反射材は山形スリーエムで作られたものです。同社の協力を得て反射材を展示し、実験もできます。

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:『んだ！「はやぶさ」見に行がんなね』プロジェクト

(プロジェクト代表:柴田晋平 山形大学理学部 教授)

(TEL)023-628-4552

2. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』

(概要) 東日本大震災に関連して、「これからの学生による支援活動をどのように進めるか」をテーマに夜話を開催します。

【第1夜】

日 時:平成23年5月18日(水) 18:30～20:00

【第2夜】

日 時:平成23年5月25日(水) 18:30～20:00

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

対 象:高校生・学生・一般市民 50名(入場は無料です。)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局

(TEL)023-628-4842

3. 大学コンソーシアムやまがた『合同企業説明会』

(概要) 東日本大震災による東北の経済活動の停滞もあり、山形県内大学等の学生の就職活動を取り巻く環境はいつになく非常に厳しい状況にあります。

また、学生の就職活動への意気込みが停滞しやすくなることを払拭するためにも、大学コンソーシアムとして全県的に就職活動を支援する必要があります。

このようなことから、学生がより幅広く就職活動機会が得られるよう、各大学等の求人情報を共有した大学コンソーシアム主催の合同企業説明会を開催します。

日 時:平成23年5月30日(月) 13:00～17:00

12:30～ 就職ガイダンスを開催します。

場 所:山形テルサ アプローチ(山形市双葉町1-2-3)

参加企業:県内企業を中心に宮城県等東北地方の企業、約40社

対象学生:・コンソーシアム加盟の全機関の平成24年3月卒業予定学生

・卒業後1年以内(平成23年3月以降)の卒業学生についても対象とする。

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局

(TEL)023-628-4842

4. 人文学部公開講座『遠い方言 近い方言』

(概要) 「方言」とは、いったいどのようなことばなのでしょう。ごく身近にあつて、他のどのことば以上に「自分のもの」と感じられるにも関わらず、その定義は必ずしも明らかではありません。今回の講座では、国境・時代を超えた様々なジャンルの専門家から、「方言」が作り出される過程、そして「方言」から生まれる言葉や人同士の関係を語っていただきます。

日 時:平成23年6月2日(木)～6月16日(木)[月・木 計5回] 18:30～20:10

場 所:山形大学人文学部1階 104教室(山形市、小白川キャンパス)

対 象:一般、大学生、高校生 定員30名

受講料:一般 2,000円、大学生・高校生は無料。

募集期間:平成23年5月9日(月)～5月31日(火)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学人文学部事務室

(TEL)023-628-4203

5. 山形大学テニユア・トラックプログラム シンポジウム

『社会的知性を備えた卓越した若手研究者育成』

(概要) 山形大学では、科学技術振興機構の支援により、優秀な若手研究者をテニユア・トラック教員として採用し、世界的研究拠点形成の中核となる人材を育成しています。

日 時:平成23年6月3日(金) 13:00～16:30

(ポスターセッション・情報交換会 17:00～18:30)

場 所:山形テルサ アプローチ(山形市双葉町 1-2-3)

参加料:無料(情報交換会参加費 3,000円)

申込締切:平成23年5月31日(火)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学若手研究者支援室

(TEL)0238-26-3004

6. 『あなたと山形大学を結ぶインフォメーション』発行

(概要) 山形大学では、今年度を実施を予定している「市民向け講座」「子ども向けプログラム」「大学開放プログラム」などを掲載した、案内冊子を発行しました。

みなさんに、興味、関心を持って参加していただけるように、それぞれの学部等の特色を活かした講座等を企画しています。

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学企画部研究支援課

(TEL)023-628-4845、4846

7. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント
当日の取材をよろしく願いいたします。

○基盤教育「ウーマン・オブ・ヤマガタ」公開教養セミナー

特別講演：吉村美栄子山形県知事より～あなたへ贈るメッセージ～

日 時：平成23年5月17日(火)13:00～14:30

場 所：山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館221番教室

対 象：学生・教職員・一般の方

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ：山形大学男女共同参画推進室

(TEL) 023-628-4937、4938、4939

○都市・地域学研究所「都市研カフェ」

日 時：平成23年6月10日(金)～7月15日(金)17:00～19:00

場 所：ゆうキャンパス・ステーション(山形駅前、山形むらきさわビル1階)

申込〆切：平成23年6月3日(金)17:00

定 員：一講座20名程度

参加料：一般 500円、高校生 無料(資料代+菓子代)

プログラム：

第1回 6月10日(金)「ジブリ作品と宗教学」

都市研所長 人文学部教授 松尾 剛次

第2回 6月17日(金)「持続可能社会のためのエネルギー」

都市研所員 理学部教授 栗山 恭直

第3回 7月 8日(金)「ナスカの地上絵」

都市研所員 人文学部教授 坂井 正人

第4回 7月15日(金)「驚きの名画:美術史の楽しみ方」

人文学部教授 元木 幸一

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

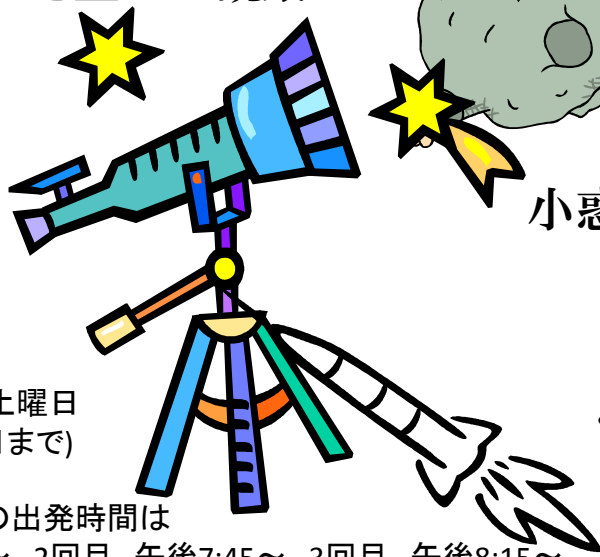
問い合わせ：山形大学人文学部事務室

(TEL) 023-628-4203

やまがた天文台 星空案内と 小惑星特別展



春の星空案内
と土星の観察



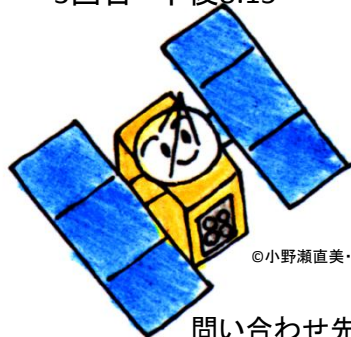
山形にちなんだ名前の
小惑星リスト公開

小惑星 (1) 発見命名された小惑星

順番	発見者名	命名	名前	発見年月	発見場所	2011.2月
1	6184	Domon		1990.10.15	知見一由五郎	
2	6349	Iwasato	土門善	1990.11.20	川崎幸一・徳田利博	
3	6741	Zao	佐藤勲	1992.03.05	川崎幸一・徳田利博	
4	7048	Yamagata	佐藤勲	1990.4.14	山形大学	
5	8201	Naruo	藤子	1990.5.15	北條 豊丸	
6	8114	Mogamiwata	山形県	1990.9	北條 豊丸	
				1990.11.10	北條 豊丸	

小惑星誕生のメカニズム

ペーパークラフトで見る
日本のロケットの歴史



はやぶさ搭載
ターゲットマーカー
反射材実物展示

©小野瀬直美・奥平恭子

■公開日

5月14日から毎週土曜日
(特別展は6月12日まで)

星空ガイドツアーの出発時間は

1回目 午後7:15~ 2回目 午後7:45~ 3回目 午後8:15~

■参加料

小学生以上 200円

なお、特別展の見学のみであれば、
月曜から金曜日(10:30-14:00)無料で
御覧いただけます。

■場所

山形大学小白川キャンパス
インフォメーションセンター/やまがた天文台

問い合わせ先

山形大学インフォメーションセンター

平日の日中(午前9時~午後5時) TEL 023-628-4050
または、理学部柴田研究室 023-628-4552

やまがた夜話

—東日本大震災関連 学生による支援活動について—

テーマ

「これからの学生による支援活動を
どのように進めるか」

5月18日(水)

18:30~20:00

- 1) 福興会議活動
田中 秀樹氏 (東北芸術工科大学大学院2年)
酒見 浩司氏 (東北芸術工科大学大学院1年)
佐藤 太一郎氏 (東北芸術工科大学大学院2年)
- 2) ボランティアサークル「ボラぼっけ」活動
黒坂 康人氏 (東北公益文科大学公益学部4年)
- 3) ボランティアサークル「清い翼」活動・避難施設ボランティア活動
海藤 扇早氏 (山形県立保健医療大学保健医療学部3年)
関根 優子氏 (山形県立保健医療大学保健医療学部3年)
- 4) やまがた学生セイバーズ活動
佐藤 修平氏 (山形大学人文学部2年)

5月25日(水)

18:30~20:00

- 1) 保育ボランティア活動
佐藤 旦氏 (羽陽学園短期大学幼児教育科2年)
- 2) チャリティーコンサート活動
信夫 椋氏 (東北文教大学人間科学部2年)
- 3) ボランティアサークル「ホップステップ」活動
松田 知恵氏 (山形県立米沢女子短期大学英語英文学科2年)
- 4) NPO「つなプロ」参加活動
熊谷 周三氏 (山形大学大学院研究生)

ファシリテーター NPOハーバランス代表 舟田 篤史氏

会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらさきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分。

主催 大学コンソーシアムやまがた

お申込 電話又は、チラシ裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX、郵送、メール等で下記宛お申し込みください。

対象 高校生・学生・一般市民

入場無料 定員:50名



お申込み・お問合せ



大学コンソーシアムやまがた
ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820
E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

~スマイル・トレード10%支援~



やまがた夜話

—東日本大震災関連 学生による支援活動について—

テーマ 「これからの学生による支援活動をどのように進めるか」

参加申込書

必要事項を明記の上、下記宛 FAX・郵送または E-mail にてお申し込み下さい。
みなさんのご参加をお待ちしております。

申込締切日：それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加日を○で囲んでください。 1, 平成23年 5月 18日 (水) 2, 平成23年 5月 25日 (水)
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	学生の方は学校名を記入

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。
この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に
使用するとともに、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

お申込み・お問合せ先



大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション
〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



財獲得

参加企業 募集!!

合同企業 説明会

大学コンソーシアムやまがた加盟機関の平成24年3月卒業・修了予定学生及び卒業後1年以内(平成23年3月以降)の卒業生。

開催日: **2011年5月30日月**

会場: **山形テルサ**

日程:	■ 受付	12:00~	(3F アプローチ)
	■ 合同企業説明会	13:00~16:00	(3F アプローチ)
	■ 情報交換会	16:10~17:00	(2F リハーサル室)

対象: **山形県及び東北地方の企業**

主催: **大学コンソーシアムやまがた**

後援: **山形労働局・山形県**

申込方法: 大学コンソーシアムやまがたのホームページより「5月合同企業説明会参加申込書」をダウンロードし、メールにて、5月24日(火)までに、お申し込みいただきますようお願いいたします。
URL (<http://unicon.kj.yamagata-u.ac.jp/>)

参加費: 参加費として 3,000 円いただきます。(当日会場にて)

会場 ACCESS



お問合せ



大学コンソーシアムやまがた事務局 (担当:西田・石橋・小玉)

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル 1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成23年度 山形大学公開講座〔人文学部〕

遠い方言 近い方言



6月2日(木) 多様な英語にみる方言の力
人文学部 講師 嶋田珠巳

6月6日(月) 若者の東北方言
— 消える方言・残る方言・拡大する方言
人文学部 准教授 池田光則

6月9日(木) 多言語国家フランス
人文学部 教授 阿部宏慈

6月13日(月) 方言の使い分けと役割語
人文学部 教授 渡辺文生

6月16日(木) 山形の方言 — 民話と民俗
人文学部 教授 菊地 仁
東北文科大学短期大学部 教授/東北文科大学部民話研究センター長 佐藤 晃
(司会: 人文学部 准教授 森岡卓司)

日時: 平成23年6月2日(木)～6月16日(木)
午後6時30分～8時10分 [月・木計5回]

場所: 山形大学人文学部1階 104教室

対象: 一般・大学生・高校生 定員30名

受講料: 一般 2,000円

大学生・高校生は無料

募集期間: 平成23年5月9日(月)～5月31日(火)

■お問い合わせ先

山形大学人文学部事務室

電話: 023-628-4203

E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

遠い方言 近い方言

講座の概要

「方言」とは、いったいどのようなことばなのでしょう。ごく身近にあつて、他のどのことば以上に「自分のもの」と感じられるにも関わらず、その定義は必ずしも明らかではありません。例えば、方言と流行語との違いは明確には定められませんし、逆に、方言と見なされてきたものが、一つの独立した体系を持つ別言語だと自ら主張する場合があります。あらためて考えると、「方言」とは、優れて関係的な概念です。標準とされることばがなければ、方言と見なされることばもありえないからです。今あなたが、そして私が使っているこのことばも、時と場合によって、方言であつたりなかったりと、その顔を変えてゆく可能性を持つのです。しかし、あるいは、だからこそ、その不確かな存在に、私たちは様々な思いをこめて方言を使うのかもしれない。今回の講座では、国境・時代を超えた様々なジャンルの専門家から、「方言」が作り出される過程、そして「方言」から生まれる言葉や人同士の関係を語って頂きます。

第1回目

多様な英語にみる方言の力

人文学部 講師 嶋田 珠 巳



第一日目のテーマは、言語の個別性、方言の個性、英語の地域性。たとえば、イギリスのお隣、アイルランド英語のアイルランドらしさはどのようなところに見いだされるのでしょうか。標準語と方言、言語とコミュニティ、言語意識とことばの変化などについて考えながら、アジアにも、そして日本にも、「らしさ」を許容してひろがりをもちつつある英語の諸相をみていきます。

6
2
木

第2回目

若者の東北方言 — 消える方言・残る方言・拡大する方言

人文学部 准教授 池田 光 則



まず、国立国語研究所刊行の『日本言語地図』や『方言文法全国地図』等を見ながら、日本各地域の伝統方言について特色と分布を概観します。次に、10年間にわたり毎年400名前後の山形大学1年生を対象に実施したアンケート調査結果をもとに、若者世代の方言使用の実態と方言に対する意識を分析し、主として東北地方の方言について伝統方言からの変容の様子を考察します。

6
6
月

第3回目

多言語国家フランス

人文学部 教授 阿部 宏 慈



「ある民族がどれいとなつても、その国語を保っているかぎり、そのろう獄のかぎを握っているようなものだ」とアメル先生は語り、「フランス、アルザス、フランス、アルザス」とみごとに丸い書体で書きましたが（『最後の授業』）、それをお手本に書き取りをした「アルザスの一少年」は、普段何語で話していたのでしょうか？フランス語と方言、さらにはフランスにおける非フランス語の問題を通じて、近代的な国民国家と「国語」の問題を考えてみたいと思います。

6
9
木

第4回目

方言の使い分けと役割語

人文学部 教授 渡辺 文生



私たち日本人は、生活している地域で使われることば（方言）だけを用いているのではなく、さまざまな場面で共通語と方言を使い分けてコミュニケーションをしています。その共通語と方言の使い分けの実態について、さまざまな観点から話題を取り上げてお話ししようと思います。特に、最近の日本語研究において注目を集めている役割語という観点から方言の使われ方について考察します。

6月13日

第5回目

山形の方言 一 民話と民俗

司会：人文学部 准教授 森岡卓司

人文学部 教授 菊地 仁



東北文教大学短期大学部 教授
東北文教短期大学部民話研究センター長
佐藤 晃



講座の最終回は、東北文教大学短期大学部民話研究センターから佐藤晃先生をゲストにお招きして、トークセッションを行います。この山形の民話、民俗のなかに豊かに息づき、そして様々にかたちを変えながら受け継がれていくであろう方言のことを、説話、口承文芸、民俗学研究の最前線から縦横に語りつくします。そこからは、山形だけではなく、世界中の「方言」のこれまで、そしてこれからが見えてくることでしょう。ぜひ、皆さんもご参加ください。

6月16日 木

02	払 込 取 扱 票										通常払込料金 加入者負担								
口座記号番号																			
0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8	金額	千	百	十	万	千	百	十	円
															2	0	0	0	
加入者名	国立大学法人山形大学										料金	備考							
通信欄	※「遠い方言、近い方言」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部) ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方はご記入ください。() ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー棟のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います)												日附印						
ご依頼人	おとこ (郵便番号)										おなまえ		様						
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)													日附印						

ここから切り離してお出ください。

切り取らないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座番号	0	2	2	6	0	7	通常払込 料金加入 者負担	
加入者名	国立大学法人山形大学							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
					2	0	0	0
ご依頼人	おなまえ							様
料金	日附印							
備考								

記載事項を訂正した場合は、その箇所印を押してください。



- 募集人員** ◆ 一般・大学生・高校生 30名
- 募集期間** ◆ 平成23年5月9日(月)～5月31日(火)
- 受講料** ◆ 2,000円(大学生・高校生は無料)
- お申し込み方法** ◆ 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
- お問い合わせ先** ◆ 〒990-8560
山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室
TEL: 023-628-4203
E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
- 会場案内** ◆ 山形大学人文学部1階 104教室
大学正門を入って正面の建物です。
受付は人文学部正面玄関にて行います。
- その他** ◆ **【公共交通機関ご利用のお願い】**
現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。

この受領証は、郵便局で機械
処理をした場合は郵便振替の払
込みの証拠となるものですから
大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理し
ますので、本票を汚したり、折
り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。



山形大学では、科学技術振興機構のご支援を頂き、優秀な若手研究者をテニユア・トラック教員として採用し、世界的研究拠点形成の中核となる人材を育成しています。

日時: 平成23年6月3日(金) 13:30～16:30 (ポスターセッション・情報交換会 17:00～18:30)

場所: 山形テルサ アフローズ(3階) (山形駅西口から徒歩3分)
山形市双葉町一丁目2番3号 Tel: 023-646-6677

主催: 国立大学法人 山形大学

参加費
無料

情報交換会参加費
3,000円

PROGRAM

- 13:30～13:40 ● 開会挨拶 深尾 彰 (山形大学理事・副学長)
- 13:40～14:10 ● 基調講演「テニユア・トラック制度の現状」
熊谷 良雄氏 ((独)科学技術振興機構科学技術システム改革事業プログラム主管)
- 14:10～14:30 ● 本プログラム「社会的知性を備えた卓越した若手研究者育成」について
深尾 彰 (山形大学理事・副学長)
- 14:30～15:10 ● **SQ (Social Intelligence Quotient) について**
岡田 尊司 (山形大学客員教授 SQトレーニングコーチ)
- 15:10～15:25 ● ～休憩～
- 15:25～15:55 ● 招待講演 「信州大学の取り組みについて」
山本 巖氏 (信州大学 名誉教授)
- 15:55～16:25 ● 招待講演 「東京農工大学の取り組みについて」
養王田 正文氏 (東京農工大学大学院 教授)
- 16:25～16:30 ● 閉会挨拶 坂本 政臣 (山形大学理学部長)
- 17:00～18:30 ● ポスターセッション(テニユア・トラック教員)・情報交換会
(会場 リハーサル室 2階)

申込
URL

申込締切日 5月31日

<http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/tenure/ja/form/symposium2011.php>

ホームページから申込OK

※個人情報の取り扱いについて、ご登録頂いた情報は、参加者の確認にのみ利用させていただきます。